

R 7 講評（ 昆虫 ）の部

- 出品数の減少が課題と思われます。
- 展示の仕方、目録の作成まで大変よく整えられている。
- ラベルの位置を正しくするとよいものもあった。
- ラベルの規格（縦 1 cm、横 2 cm）が望ましい。

（県知事賞について）

- 種類が豊富でスペースを有効に利用している。
- 展翅、展足が丁寧できれい
- 並べ方も、科別に区分けがされている。
見やすい効果に役立てられている。

R 7 講評（ 貝 ） の部

- 採集方法（自分で拾った、生貝をとった、漁師さんからいただいたなど）も目録に書くとよい。
- 4箱、3箱の作品も多く、陸の貝や微小貝など丁寧に採集されていた。
- 小学校低学年から多くの貝を採集し、標本にしてあった。
- 科の間違いがみられる標本があった。名前を調べる会などを利用してほしい。

（県知事賞について）

- 700 点を超える貝を一つ一つ丁寧に標本にしてあった。
特に微小貝が数多く採集されていた。貝も口をそろえ、科ごとに見やすく作成されていた。

R7 講評（植物）の部

- 全体的にきれいな標本になっている。(標本にしわがない、といったもの)
- 今年は暑い夏だったが、いい作品が出品されている。
- 湿地の植物とかシダ植物といったテーマをもって標本づくりをするのもおもしろい。

（県知事賞について）

- 年間を通して実や花のついた標本を作成している。
- 植物の特徴をとらえた標本になっている。

R7 講評（ 岩石 ）の部

- 全体的に作品の質が向上しています。県内の各地で採集し、まんべんなく種類をそろえている作品が多く見られました。
- 今後気を付けなくてはならないことは、風化したもの（岩石がボロボロになったもの）や川原で拾ったものなどは標本として適さないなので気を付けてください。

（県知事賞について）

- 岩石の種類が多く、くまなく採集している。また、岩石の形も標本として整っています。
- 採集記録も丁寧で詳しくまとめられています。